

あぐい



阿久比町
マスコットキャラクター **アグッピー**

11 November 暮らしの情報誌
11月1日号

2010

No.1017

毎月1日・15日発行

主な内容

- ② 阿久比町長選挙
11月28日(日)は阿久比町長選挙の投票日です。寄附を「贈らない」「求めない」「受け取らない」。“三ない運動”を徹底してください。
- ⑥ まちの話題
町民講座、草木小学校に中国芸術団来訪など、まちの話題を紹介。
- ⑨ あぐいぶらり旅
町内寺院最大の本堂がある蓮慶寺を訪ねる。建築には地元出身の腕のいい大工が携わり....。
- ⑯ 産業まつりを開催
楽しいイベント盛りだくさん。家族でお出掛けください。



「ヨーイ ドン」。広い芝生の上を“ちびっ子”たちが駆け回る

10月5日、スポーツ村陸上競技場で子育て支援センター主催「あぐぴっぴ運動会」が開かれました。秋空の下、広い芝生の上に多くのちびっ子たちが集い、所狭しと駆け回っていました。

私たちの住んでいるまちの町長を選ぶ大切な選挙です。

あなたの貴重な一票を、明日のよりよい町政のために活かしましょう。

問い合わせ先

阿久比町選挙管理委員会

☎(48)1111(内207・237)

11月28日(日)は 阿久比町長選挙の投票日です



草木小6年 竹内貴大君の作品

みんなで徹底しよう 「三ない運動」

政治家は有権者に寄附を贈らない!

有権者は政治家に寄附を求めない!

政治家から有権者への寄附は受け取らない!



明るい選挙推進キャラクター
「めいすいくん」

Q 投票日に旅行をすることになったのですが、投票はできますか?

A 役場で期日前投票を行うことができます。

投票日当日に仕事などがある方も、同様に期日前投票を行うことができます。

Q 町外に転出することになったのですが、投票はできますか?

A 今回の選挙では、投票を行う日に阿久比町に住所がないと投票を行うことができません。

町長選挙 Q&A

Q 入場券がなくても投票はできますか?

A 入場券がなくても選挙人名簿に登載されていれば投票を行うことができます。投票所でその旨を申し出てください。

Q 小さな子どもを投票所に連れていっても投票はできますか?

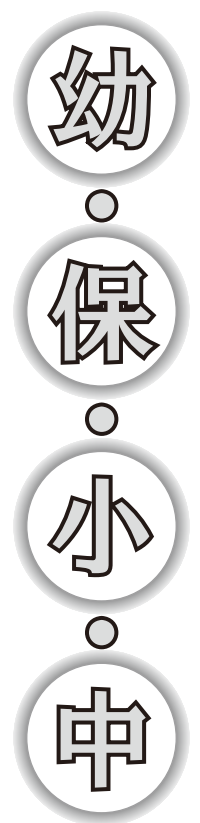
A 投票所には、選挙人本人しか入れないわけではありません。保護者と一緒であれば大丈夫です。

Q 投票日に入院中ですが、どうしたら投票できますか?

A 入院先の病院が、不在者投票施設として指定を受けていれば、病院で投票することができます。病院へ直接お尋ねいただき、投票する意思を伝えてください。

オアシス運動を盛り上げます **幼保小中高一斉あいさつ運動を実施** 11月18日(木)~24日(水)の1週間 (土・日・祝日は除く)

一貫教育プロジェクト



幼児、児童、生徒が登園・登校する時間に

- ・ それぞれの活動しやすい場所（自宅の前・地域）で登校する園児や児童、生徒・地域の方に「おはよう」「行ってらっしゃい」と声を掛けてください。
- ・ 各校や園の前で運動に参加してください。



小中学校は、各校の児童会・生徒会が具体的な方法を考えて実践します。保護者の方は、各学校の案内に従ってください。特に案内がない場合は、地域の一人として活動にご参加ください。

幼稚園・保育園は、各園でできる範囲で工夫します。

地域の方は、地域の回覧板でうちわに張る用紙を全戸配付します。運動に参加するときに活用してください。

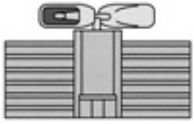


適当な大きさに切り、家庭にあるうちわに張ってください。

「幼保小中一貫教育プロジェクト」の活動の一環として、「幼保小中高一斉あいさつ運動」を実施しています。あいさつは、阿久比町民憲章のオアシス運動として盛り込まれており、プロジェクトでの子どもたちが身に付けるべき生活習慣で最も大切なものの一つであると考えています。

あいさつ運動は、年に2回行います。6月には阿久比町小中学校PTA連絡協議会の協力のもと、実施することができました。今回は、阿久比高校にも協力いただき実施します。回覧板でも案内しますが、地域の方の力も借りて、活動を実のあるものにしていきたいと考えています。学校・家庭・地域が協働体となって、元気にあいさつができる子どもたちを育てていきたいと願っています。ご協力ください。

問い合わせ先 学校教育課 ☎(48)111(内202)



行政無線情報は電話でも

防災行政無線が聞き取りにくい場合は
☎(48)7030 へ問い合わせてください。最新
のメッセージを聞くことができます。

消防団による地域防災力の充実 有事に備え、実践訓練



消防団は、「自分たちの地域は自分たちで守る」の精神に基づき、消火や防災活動で活躍し、地域住民の尊い生命、身体、財産を守り、自主防災会と同様、地域防災の主要な役割を担っています。

阪神淡路大震災の救出の一例では、救出者の七十七パーセントが、自力・家族・自主防災会・地元消防団に助け出され、その八十パーセントの方が生還できました。地域が消防団と一体となった協力体制を構築することは非常に重要です。

阿久比町消防団は、町内を五つの地区に分け、団員数八十三人（定数百五人）で構成されています。（平成二十二年十月一日現在）

主な活動は年頭の消防出初式に始まり、観閲式、消防操法大会、防災訓練、年末夜警など年間を通じて訓練

防災への意識改革

145

安全
で
住
み
よ
い
ま
ち
づ
く
り

ニュース

防災交通課
☎(48)111
(内208)

練などに精励しています。町内には、大型の消防車輛の進入が困難な場所も多くあり、日ごろの訓練で消火活動の迅速化に努めています。

十月十七日には、阿久比スポーツ村第2駐車場で、第七回消防実践訓練が行われました。訓練は、半田消防署阿久比支署の指導のもと、車両の悪路走行、障害物（高塀・低所）の通過、長距離のホース延長、可搬式小型ポンプを使った放水など、有事の際に分団として適切な対応が出来ることを目的とした総合訓練で毎



防犯キャンペーンを実施

秋の安全なまちづくり県民運動期間中（10月11日～10月20日）の10月17日、アピタ阿久比店で、城山保育園児、阿久比町安全で住みよいまちづくり推進協議会委員、半田警察署署員、知多県民センター職員などが参加して防犯キャンペーンを実施しました。

振り込め詐欺や自転車の盗難が多発しています。ちびっ子警官にふんした保育園児たちは、店頭で買い物客に啓発物品を配り、防犯を呼び掛けました。

年実施しています。

第七回阿久比町消防団実践訓練

優勝 第4分団（南部）

準優勝 第2分団（英比）

第三位 第5分団（南部）

消防団員数の減少、消防団員のサラーマン化などさまざまな課題があります。阿久比町でも今まで以上に団員の確保が困難になってきました。町内在住または在勤の年齢十八歳以上の方で入団を希望される方は、防災交通課まで問い合わせください。

秋の火災予防運動

11月9日(火)～11月15日(月)

「消したかな」 あなたを守る 合言葉

(平成二十二年度全国統一防火標語)

※ 火災予防運動週間中、午後八時に三十秒間サイレンが鳴ります。

火災件数は減少傾向

知多中部管内(半田市、阿久比町、武豊町、東浦町)では、平成二十二年八月末までに五十九件の火災が発生し、昨年の同時期と比較すると三件の減少となりました。

火災による死者も減少しましたが、一人の尊い命が犠牲になりました。

出火原因では、「放火(疑いを含む)」が昨年同様一位で、続いて「コンロ」「たばこ」の順となっています。

放火を予防するためにも、家の周りに燃えやすいものを放置しないようにしましょう。

消火器の取り扱いに注意

腐食の進んだ消火器を使用し、負傷するという事例が数件発生しています。取り扱いと保管について次の点に注意しましょう。

- ・ 消火器は圧力容器であることを認識し安易に放置しない。
- ・ へこみなどのある消火器は使用しない。

分解は絶対しない。

- ・ さびが発生する原因となるため、水のかかる場所には設置しない。
- ・ 消火器による事故を無くすためにも定期的な点検し、適切に維持管理しましょう。

消火器のリサイクル制度が始まりました

今年一月一日から、消火器のリサイクルシステムが始まり、リサイクルシールを貼られていない消火器はシールを購入し、処分しなければならなくなりました。

特定窓口(消火器販売店など)または指定取引所(消火器メーカー営業所など)でシールを購入し、特定窓口もしくは指定取引所に引き取ってもらってください。

詳細は「消火器リサイクル推進センター」☎03(5829)6773

問い合わせ先 知多中部広域事務組合消防本部予防課 ☎(21)1491

“消防緊急通報ファックス”のお知らせ

聴覚障害や音声・言語障害のある方を対象に自宅のファックスから火災、救急時の緊急通報ファックスがご利用できます。

通報用紙は下記の機関で用意してありますので問い合わせてください。

消防緊急通報ファックス番号 (25)0119

問い合わせ先

住民福祉課

☎(48)1111 F A X(48)0229

半田消防署 通信指令室

☎(21)0119 F A X(22)7420

阿久比支署にも用意してあります。

上級救命講習と普通救命講習を開催

救命講習に加え傷病者管理や副子固定、熱傷の手当て、搬送法を学ぶ講習です。

日時・場所・定員

十二月四日(土)午前八時半～午後五時十五分、半田消防署、定員三十人(先着順)

申し込み・問い合わせ先 知多中部広域事務組合消防本部 半田消防署 ☎(21)1492

普通救命講習

救命のための応急手当やAED(自動体外式除細動器)の使い方を学びます。

日時・場所・定員

十二月九日(木)午前九時～正午、半田消防署成岩出張所、定員二十人(先着順)

申し込み・問い合わせ先

知多中部広域事務組合消防本部 成岩出張所 ☎(24)0119 H P http://www.cac.net.ne.jp / chiachu/

～まちの話題～

島田洋七さん「がばいばあちゃん」を語る



講演を行う島田洋七さん

講師にタレントの島田洋七さんを迎え、第25回町民講座を10月23日エスペランス丸山で開きました。

「笑顔で生きんしゃい」をテーマに、島田さんの祖母で、ベストセラー小説『佐賀のがばいばあちゃん』の主人公となった「がばいばあちゃん」から学んだ人生哲学をおもしろくおかしく参加者約400人に語りました。

「笑顔を作るのは人間だけ。ばあちゃんから『幸せ(しあわせ)』という字は読めても『苦労(くろう)』は読めなくてもいいと教わった。世の中は笑顔で明るく生きることが大切」と、島田さんは話を結びました。

草木小中国芸術団と交流



草木小児童の前で武術を披露する芸術団

10月6日、中国の「北京西城区青少年芸術団」が草木小学校を訪れ、児童たちと交流を図りました。

芸術団は、中国伝統の歌や武術などを学ぶ「少年宮」に通う6歳～13歳までの選抜された30人。日本文化を学ぶ「教育旅行」で10月5日～10日までの6日間日本に滞在し、愛知県観光協会の仲介で阿久比町を訪問しました。

この日は、体育館でコーラスや武術の実演を草木小学校全児童に披露。優しい歌声や、所狭しと飛んだり跳ねたりする機敏な動きを、児童たちは真剣に見入っていました。

戦没者を追悼



献花をして戦没者を追悼する参加者

10月6日エスペランス丸山で、平成22年度阿久比町戦没者追悼式を開き、太平洋戦争で亡くなった235人の戦没者を追悼しました。

式には約100人が出席。町長が「日本の平和を次の世代に引き継ぐことが私たちの責務です」と、遺族会長の竹内義則さんは(草木)「65年という歳月がたちましたが、戦争によって亡くなられた人々を忘れてはなりません。戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えていきます」と追悼の言葉を述べました。

参列者は平和への願いを込め、一本ずつ菊の花をささげ、戦没者の冥福を祈りました。

ソフトテニスで全国スポレク祭に出場

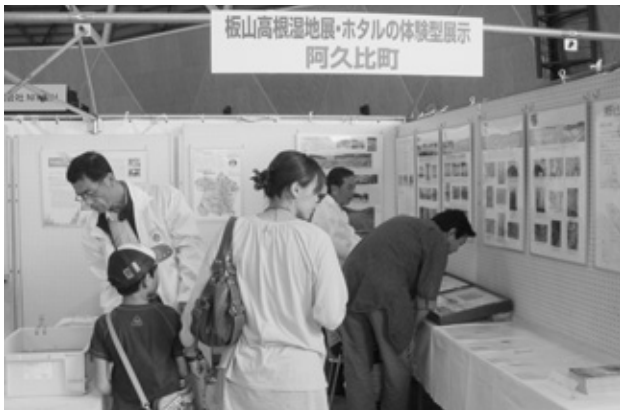


出場報告をする兒玉美幸さん

10月8日兒玉美幸さん(宮津団地)が、第23回全国スポーツ・レクリエーション祭(10月16日～19日富山県で開催)「45歳以上ソフトテニス」の出場報告に町長室を訪れました。

兒玉さんは、これまでにインターハイや国体に出場するなどの実績があります。「学生時代、素晴らしいコーチに恵まれて、ずっとテニスを続けています。優勝を目指して、楽しみながら試合に臨みます」と、笑顔で話していました。

オアシススケッチ



標本や写真パネルで取り組みを紹介

生物多様性に関連した市町村の活動や取り組みを紹介するイベント「地球のいのち・交流ステーション」が、COP10開催中の10月16日と17日の2日間、愛・地球博記念公園内の地球市民交流センターで行われました。

ブース出展では、阿久比町から環境のパロメーターとしてホタル保護に努めていることを紹介するため、ホタル養殖場で飼育するホタルの幼虫を観察するコーナーを設けたり、板山高根湿地で保護する貴重な動植物の標本や写真パネルを展示したりして、町の取り組みを発信しました。

また、レンゲソウを肥料に今年生産した「阿久比米れんげちゃん」の即売もあり、多くの来場者が新米を買い求めていました。

町の取り組みを COP10イベントで紹介



ホタルの幼虫を観察する来場者

小学生が福祉を学ぶ



車いすを体験する草木小児童

10月13日、草木小学校4年生が「福祉実践教室」で、福祉について学びました。

教室は福祉やボランティア活動への関心を高めてもらおうと町社会福祉協議会が企画。障害者やボランティア活動者が講師を務めました。

車いす、手話、点字体験の3コースに分かれ、福祉体験を行いました。

車いすの大変さを実感した子どもたちは「体の不自由な人に優しく声を掛けたいと思います」と感想を話していました。

運動会で心地よい汗を流す



紅白に分かれ参加者全員で玉入れ

第30回障がい者大運動会が10月17日、阿久比スポーツ村陸上競技場で開かれました。

今年は障がい者支援施設「パスピ98」と「ひらめき2%」の利用者も参加し、参加者約150人が風船割り競走やアメ食い競走など8種目の競技で汗を流しました。

休憩時間に心身障害者小規模授産施設「もちの木園」の園生によるエアロビクス健康体操の披露もあり、会場を盛り上げました。

また、阿久比高校生や家族など、多くのボランティアが運動会の進行に協力しながら、交流を深めていました。

阿久比中学校 桜輝祭

10月15日と16日の2日間、阿久比中学校で「桜輝祭」が行われました。

今年のスローガンは「MOVE ~笑顔に向かって走り出せ~」。文化の部と体育の部に分かれた二部構成で、生徒たちはクラスや部活動の仲間たちと力を合わせ、学校祭を盛り上げました。

体育館には、「桜輝祭」のネーミングにちなみサクラの花びらが描かれた巨大オブジェが飾られました。生徒全員の手形が大型キャンパスに押され、自分たちで桜輝祭を創り上げたいという気持ちが込められていました。

体育の部

秋空の下、健脚を競うリレーや熱のこもった応援合戦など、それぞれの持ち場で一人一人が全力で頑張る生徒の姿に若さがみなぎっていました。



生徒の気持ちがこもった桜のオブジェ

笑顔に向かって走り出しました

文化の部



体育館では、吹奏楽部の演奏、演劇部の上演、有志によるダンスやバンド演奏などが行われました。また、3年生はクラスごとにダンスなどのパフォーマンスを繰り広げました。

1年生と2年生はテーマを設け、クラスごとに教室で発表を行いました。環境問題を取り上げ、リサイクルやエコロジーについて調べたことが多く発表されていました。



シリーズ

阿久比を歩く ⑬



“反り”の曲線が美しい蓮慶寺の屋根

大古根地区の蓮慶寺を友人と二人で訪ねる。県道阿久比半田線を南に進む。植大駅西信号を過ぎ、しばらく行くと、右手前方に寺の大きな屋根が見えてくる。
参道の長い坂を上りきり、蓮慶寺に着く。境内に入ると、東向きを正面に、町内寺院では最大の本堂が建つ。
遠くから見えていた屋根を目の前にすると、すぐ近くに空があるよう

建造物を見る（蓮慶寺）

あ
ぐ
い
ぶ
ら
り
旅

な錯覚を感じるほどの壮大さがある。勾配の急な屋根造りで、“反り”の曲線が美しく、棒状の瓦が流れ落ちてくるようだ。
住職が声を掛けてくれ、本堂を案内してくれた。
石坂山蓮慶寺は真宗大谷派に属する。本堂は文化八（一八一一年）に“落慶”。内部は内陣、外陣、大間に分かれる。
内陣中央には本尊「阿弥陀如来」が置かれる。上を見上げると、屋根付きドーム球場のように天井が膨らむ。「二重折上げ小組格天井」と呼ばれる珍しい建築様式が使われる。
外陣は狭く、広い大間は門徒が集う「道場」で、四隅にはケヤキの太い丸柱が立つ。
「この寺の建造には『横松大工』が深い関わりを持っていることが最近分かりました」と住職。
本堂や大門（山門）再建の棟札には、知多地方の山車造営に深く関わった横松大工の名が残る。本堂の大工棟梁は「横松 清兵衛」、大門再

建棟梁には「横松 江原新助」の名が記される。
横松大工は、神社や仏閣の建築を主とした、堂宮大工。木組みだけで造り上げる卓越した技術は非常に評価が高い。江原新助は明治二十四年、半田市亀崎「潮干祭」で海浜に曳き下ろされる石橋組の山車「青龍車」の建造（明治二十四年）に携わっている。
「身近に、すぐ腕の大工さんがいたことを意外と皆さん知らないですよ。後世に名を残す横松大工の手が加わっていたことは寺の自慢です。本堂建立から二百年。ところどころ傷みが目立ち、修理が必要なんですよ」。古寺を守っていかなければという住職の言葉に力がこもる。
本堂を後にする。境内の鐘楼堂を眺め友人が言う。「お寺の鐘をおもいつきり鳴らしてみたいです」。「どうして?」。「なんとなくです。秋だからですかねえ」。「ええ?」。



天井が膨らむ“格天井”



「親子染色教室」

「すくすくピクニック」



日にち 10月9日
場 所 中央公民館

あぐいぐらしの会のメンバーが指導にあたり「親子染色教室」を行いました。

布にひもや輪ゴムを縛り付けて染めることで柄を付ける“絞り染”という技法にチャレンジしました。同じように作っても少しずつ柄が違い、受講生は自分だけの色鮮やかな作品を作ることができました。

日にち 10月1日～29日(全5回)
場 所 中央公民館

親子で食育&遊び&読み聞かせ「すくすくピクニック」を行いました。

阿久比町在住の水野良美さんと関敬子さんが講師を務め、参加者に育児の話やアドバイスをしました。また、子どもには読み聞かせをして、絵本のおもしろさを伝えました。親子で一緒に料理をする時間も設けられ、楽しい時間を過ごすことができました。

人権教育推進事業講演会を開催

人権に対する理解と認識を深め、差別意識の解消を図るため講演会を開催します。

日 時 12月5日(日)
午後1時30分～午後3時
場 所 中央公民館本館 3階301号室
演 題 「人権落語」
～ 落語にみる人と人の
コミュニケーション～
(講話と落語による講演です)

講 師 落語家 桂 梅團治 氏
定 員 100人

受講料 無料(要整理券。11月9日(火)から社会教育課窓口で配布)

問い合わせ先 社会教育課 ☎(48)1111(内280)



みんなの童話

たけぼうしと魔法のつたあみちゃん



ある日のことです。

あみちゃんは、とってもたいくつしていました。

（何かおもしろいことは、ないかなあ）

あみちゃんは、ふらりと家のうらまわって、ものおきをのぞいてみました。

ものおきには、古いなべとか、ざるやはしなどが、ごちゃごちゃと、おいてありました。

あみちゃんが、（つまらない）と思って外にでようとしたとき、たけぼうしが、目にとまりました。（やったー。まじよのほうきじゃん。たけぼうしにのって空をどぶんだ。本にかいてあった）

そう思ったあみちゃんは、たけぼうしを、またいでみました。

あっ。身体がうきました。

ガッタン。ゴットン。たけぼうしは、外にでたそうに動きます。

あみちゃんが、たけぼうしの先を外にむけました。すると、ういて前にすすいと進みます。

おもしろくなつたあみちゃんは、公園へ行きました。友達が、あそんでいました。でも、あみちゃんが、手をふつても友達は、しらんぷりであそんでいます。あみちゃんが、見えないようです。

「がっかりしてかえってきたあみちゃん、たけぼうしをものおきにしまつと、

「おやつ、ちょうだい」

と、お母さんのところへ行きまして、（お母さんに、話そうかな）と思いましたが、

「そついうあぶないことを、するものでないよ」といわれそつなのをやめました。

次の朝、あみちゃんは、たけぼうしのことになりました。

ものおきへ行くと、たけぼうしは、昨日と同じところに立っていました。

「あみちゃん、あそぼ。あみちゃん、おいで！」

呼ばれたあみちゃんは、ほうきにのって外へでました。昨日よりうまくとべます。今日も公園へ行きました。

カラスたちが、

「カア、カア。早く来いよ」

「今日のごみは、うまいぞ。カア」

「カン子、こつちですよ。カア」

と、ごみおきの上をとんでいきます。（ああ。カラスたちが、ちらかすんだわ。困ったことだ）

（カラスたちは、だまっていれば

かつてにごみをあさるわ。そつだ。おもしろく注意してみよう）

と、考えたあみちゃんは、

「カラスくんたち。ごみをちらかしちゃいけないよ。道いっばいにちらかすから、みんなが困るんだよ。やめなさい！」

と、大きなこえで、いいました。

「なんだ。このなまいきな生きものは？」

「鳥か。鳥にしては羽がない」

「ばけものか？。今ごろまじよはいないはずだ」

カラスたちには、あみちゃんが見えるようです。するどいくちばしで、せめてきました。

あみちゃんは、ほうきをしっかりとにぎると、上にのぼったり、急

に降りたり、横にとんだり、縦にとんでカラスたちを困らせました。

カラスたちも、ほうきをゆすったり、手をつついたり、かおの前をとんでおどしてきました。

はげしくたたかっていると、男の人が、ごみをだしに来て、

「しーっ。しーっ」

と、おいはらいました。

カラスたちは、にげていきま

した。カラスたちのさつたあと、あみちゃんは、さくらの木によりか

かって、休んでいました。

と、女の人が、ごみをだしに来て

「あら。今日もちらかっているわ」

そついいながら、かたづけ始め

ました。

「おはようございます。私もてつ

だうね」

あみちゃんは、たけぼうしで、

ごみをはきよせました。

「ありがとね。たすかるわ」

おばさんは、よろこんでくれま

した。二人で、そつじをしてかた

づけました。

家にかえつたあみちゃんは、た

けぼうしを、こつそりもとのとこ

ろへ、かえしておきました。

しるやま会員 かたやま のぶこ

お知らせ

母子家庭等就業支援講習会 参加者を募集

母子家庭の母などが就職に結びつ
く可能性の高い技能・資格を習得し、
自立を促進するための講習会です。
申込対象者 愛知県に住んでいる
母子家庭の母および寡婦の方
日程・講習内容

講習内容	日 程	会 場
パソコン 講習初級	平成23年 1月12日(水)~ 3月10日(木) のうち18日間	名古屋情報メディア専門学校 (栄サテライト教室)
パソコン 講習中級	平成23年 1月11日(火)~ 3月14日(月) のうち18日間	名古屋情報メディア専門学校 (栄サテライト教室)
経理事務 中 級	平成23年 1月7日(金)~ 3月11日(金) のうち18日間	名古屋経営会計専門学校 (5号館)
医療事務	平成23年 1月13日(木)~ 3月16日(水) のうち18日間	国際医療管理専門学校 (名古屋校)

託児 なし
申込期限

十一月一日(月)~十一月二十二日
(月)

受講料 無料。教材費・交通費は
自己負担

申し込み・問い合わせ先 住民福
祉課社会福祉係 ☎(48)1111

1(内226)
愛知県母子寡婦福祉連合会 ☎0

52(915)8862

「社会保険料(国民年金保険料) 控除証明書」が発行されます

国民年金保険料は、所得税および
住民税の申告で全額が社会保険料控
除の対象となります。その年の一月
一日から十二月三十一日までに納付
した保険料が対象です。

平成二十二年一月一日から九月三
十日までの間に国民年金保険料を納
付された方は、「社会保険料(国民年
金保険料)控除証明書」が十一月上
旬に日本年金機構本部から送付され
ますので、年末調整や確定申告の際
には必ずこの証明書または領収書
を添付してください。

「社会保険料(国民年金保険料)控
除証明書」については、控除証明書
のながきに表示されている番号に問
い合わせてください。

控除証明書専用ダイヤル(平成二
十三年三月十五日まで) 0570
(070)117

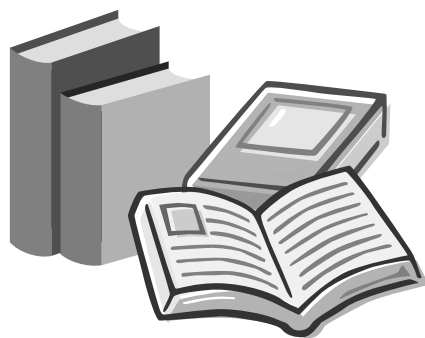
通話料金は、一般の固定電話の

場合、市内通話料金でご利用いた
だけます。

IP電話などの方は、03(67
00)1130に電話してください
。通話料金は、全額利用者負担
となります。

問い合わせ先 半田年金事務所
☎(21)2322

図書リサイクルフェアを開催



図書館で除籍した本や雑誌を皆さ
んで活用してください。一人十冊ま
で無料で差し上げます。

当日は会場で整理券を配布します。
日 時 十一月十三日(土)・十四
日(日)午前十時~午後四時

場 所 町立図書館
十一月十六日(火)から二十一日

(日)までの間、本がなくなるまで
配布を続けます。

問い合わせ先 町立図書館
☎(48)6231

自衛官を募集

自衛官を次のとおり募集します。

募集種目	受験資格	受付期間	試験期日
陸上自衛隊 高等工科 学校生徒 (男子)	平成23年4月1日現 在、15歳以上17歳未 満の男子で、中学校 卒業者又は中等教育 学校の前期課程修了 者(平成23年3月に 中学校卒業又は中等 教育学校の前期課程 修了見込みの者を含 む。)	(一般採用) 平成22年11月1日(月)~ 平成23年1月7日(金)	(一般採用) 1次:平成23年1月22日(土) 2次:平成23年2月5日(土) ~2月8日(火)までの間の指 定する1日
		(推薦採用) 平成22年11月1日(月)~ 平成23年1月6日(木)	(推薦採用) 平成23年1月15日(土)~1月 17日(月)までの間の指定する 1日

締切日必着

004
問い合わせ先 自衛隊愛知地方協
力本部半田地域事務所☎(21)0

日本脳炎予防接種について

平成22年8月27日付けで、厚生労働省から日本脳炎予防接種第2期のワクチンとして、新しいワクチンの使用が認められました。保護者が強く希望される場合に限り、第2期の接種ができるようになりました。希望の方は、保健センターまでご連絡ください。

今回接種を受けられるのは、9歳以上13歳未満で、すでに日本脳炎第1期の3回の接種が済んでいる方が対象となります。

13歳を過ぎてしまった方の第2期の接種は、現在、定期外の接種となり、公費での接種はできません。経過措置（中止期間中に13歳を過ぎてしまい、接種できなかった方への救済制度）の実施の有無などについて、厚生労働省が検討していますが、いつ決定されるかは未定です。厚生労働省から決定の通知があり次第、広報などでお知らせします。

自費で予防接種を受けられた方は、保健センターにお知らせください。

【問い合わせ先】環境衛生課保健係 ☎(48)1111(内311・312)

糖尿病予防講習会参加者を募集

日時 十一月二十五日(木)・十一月二日(木) 午前十時～午後三時(二回のコースです)
場所 町保健センター(オアシスセンター内)
主催 阿久比町食生活改善推進員連絡協議会
内容 糖尿病予防の料理(調理)

実習)とテキストを使っての講習
講師 管理栄養士 岡本和代さん、町食生活改善推進員連絡協議会員
持ち物 エプロン、筆記用具
定員 二十五人
料金 無料
申込期限 十一月十五日(月)
申し込み・問い合わせ先 環境衛生課 ☎(48)1111(内31・312)



笑顔ふたたび つなげる支援

～ご利用ください 犯罪被害相談窓口と犯罪被害給付制度～

被害相談窓口

警察では各種の被害相談窓口を設け、被害者の方からさまざまな相談に応じています。

- ・被害者本人からだけでなく、家族や友人からの相談も受け付けています。
- ・困っていること、不安なこと、手助けなど、なんでも気軽にご相談ください。

私たちは、あなたと家族が安心して暮らせるように、力を尽くします。

相談窓口名	電話番号	受付時間	内容
ハートフルライン	052-954-8897	月～金(祝日、年末年始を除く) 午前9時～午後5時	犯罪被害者のためのこころの悩み相談
レディース・ホットライン	0120-67-7830	月～金(祝日、年末年始を除く) 午前9時～正午、午後1時～午後5時	性犯罪被害相談
ふれあいコール	052-561-0184	24時間	列車内の痴漢被害相談
被害少年相談	0120-7867-70	月～金(祝日、年末年始を除く) 午前9時30分～午後4時	犯罪やいじめ等の被害に関する相談
ストーカー110番	052-961-0888	24時間	ストーカー被害に関する相談
社団法人被害者サポートセンターあいち(民間団体)	052-232-7830	月～金(祝日、年末年始を除く) 午前10時～午後4時	犯罪被害等に関する相談

レディース・ホットラインと被害少年相談は愛知県内からのみ通話可能です。

犯罪被害給付制度

この制度は、故意の犯罪行為で、大切な家族が不慮の死を遂げたり、傷害や疾病を受けたり、障害が残ったにもかかわらず、公的救済や加害者側からの損害賠償も得られない犯罪被害者の遺族または被害者本人に対して、社会の連帯共助の精神に基づき国が給付金を支給することにより、少しでも精神的・経済的打撃をやわらげようというものです。

詳しい内容については、愛知県警察本部住民サービス課犯罪被害者支援室 ☎052(951)1611

問い合わせ先 半田警察署住民サービス係 ☎(21)1110

お知らせ

人権擁護委員に 関政雄さん



十月一日付けで、関政雄さんが法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。なお、関さんは十月から愛知県人権擁護委員連合会事務局長を務めています。

人権擁護委員は、国民の基本的な権利が侵犯されることのないように、全国の市町村に配置され、いつでも皆さんからの意見や相談を受け付けています。

連絡先 阿久比町大字草木字東郷
36 ☎(48)13301

全国一斉「女性の人権 ホットライン」強化週間

名古屋法務局と愛知県人権擁護委員連合会では、夫やパートナーからの暴力、職場などでのセクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為など女性に関する人権問題を取り扱う相談電話「女性の人権ホットライン」を開設しています。

十一月十五日から二十一日までの一週間は、相談時間を延長して相談に応じますのでご利用ください。
日時

十一月十五日(月)～十九日(金)
午前八時半～午後七時
十一月二十日(土)・二十一日(日)
午前十時～午後五時
電話番号 0570(070)810
問い合わせ先 名古屋法務局人権擁護部 ☎052(952)8111
1(内1470)

愛知県障害者委託訓練「ホームヘルパー養成講座二級課程」コース受講生を募集

日時 十二月七日～平成二十三年三月九日(毎週月曜日)・金曜日の二日・三日、午前九時～午後五時

場所 (株)アバンセラライフサポート金山校(名古屋熱田区金山町152)

内容 ホームヘルパー・介護サービスの基礎、実践まで
対象 障害者手帳所持者(身体・精神障害者)
定員 十五人(面接で選考)

受講料 無料(テキスト代は別途必要)
申込期限 十一月十五日(月)
問い合わせ先 愛知障害者職業能力開発校 ☎0533(93)2102

成年後見制度普及のためのイベントを開催

成年後見制度の普及、啓発のため、「成年後見落語」を開催します。

日時 十一月二十日(土) 午後一時半～午後三時半(午後一時開場)
場所 美浜町総合体育館(美浜町大字北方字十二谷12)
内容 桂ひな太郎氏の落語、知多半島における成年後見の現状、知多地域成年後見センター紹介
定員 三百人
入場料 無料
問い合わせ先 知多地域成年後見センター半田後見事務所 ☎(21)0811、知多後見事務所 ☎0562(39)2663

十一月は「子育て応援の日(はぐみんデー)普及推進強化月間」です

愛知県では、毎月十九日を「子育て応援の日(はぐみんデー)」と定め、社会全体で子育てを応援する機運を高めるための県民運動を展開しています。

七月九日に開催された「第三回愛知県少子化対策推進会議」で、毎年十一月を「子育て応援の日(はぐみんデー)普及推進強化月間」と定め、本年度から実施していくこととしました。

今年度は次のとおり、「あいちはぐみんフェスタ」の開催など、さまざまな事業を実施して、社会全体で子育てを応援する機運を高めることとされています。

「あいちはぐみんフェスタ」を開催

元祖イクメン芸能人パパイヤ鈴木さんや、うたのお兄さん恵畑ゆうさんの楽しいステージショーや、今回新たに作成する「はぐみんの歌」や「はぐみんの着ぐるみ」披露などを行います。

日時 十一月十三日(土) 午前十時半～午後四時
場所 マツザカヤホール(松坂屋名古屋店南館八階)
主催 愛知県少子化対策推進会議構成団体
その他 入場無料
問い合わせ先 愛知県子育て支援課次世代育成支援グループ ☎052(954)6315

税金Q&A

家屋を建てた場合の土地の固定資産税

Q 数年前に購入した土地に今年住宅を新築しました。固定資産税はどうなりますか。

A 住宅用に使われる宅地は、税負担を軽減するための課税標準の特例措置があります。

たとえば、200平方メートルまでの宅地なら、専用住宅が建つことによって固定資産税の課税標準額が価格の6分の1となります。

このことから、次年度から住宅が建っている土地の固定資産税額は下がります。

問い合わせ先 税務課固定資産税係
☎(48)1111(内218・231)

作り手の心が花となる 「みんなの菊花展」



第31回みんなの菊花展

日時 11月2日(火)~11月7日(日)
午前8時30分~午後5時
(7日は正午まで)
表彰式は7日(日) 午前10時~

場所 役場前駐車場

主催 阿久比町菊花連合会

町民の皆さんが丹精込めて育てた菊の大輪が会場に飾られます。美しい菊の花が訪れる人を魅了します。今年も作り手の菊への飽くなき情熱を感じ取ってください。

問い合わせ先 保険課 ☎(48)1111(内290)
企画財政課 ☎(48)1111(内204)



電光掲示板から 多彩な情報を 発信しています

町制施行55周年記念事業の一環で役場庁舎東側壁面に設置した「電光掲示板」から、多くの情報を発信しています。午前7時から午後9時まで、行政情報や町民の活躍などをお知らせしています。ランニングコストは月額約17,000円です。「広報あぐい」の紙面でタイムリーに伝えることのできない情報なども迅速にお届けしていますのでご覧ください。

情報発信件数実績

- ・ 平成20年度 244件(10月1日から稼働)
- ・ 平成21年度 348件
- ・ 平成22年度 150件(10月末現在)

運用費 月額約17,000円

内	インターネット利用料	約7,000円(月額)
訳	電気量料金	約10,000円(月額)
	消費電力1.93kW × 14時間 × 30日 × 12.2円(単価)	

問い合わせ先 企画財政課 ☎(48)1111(内204・303)

第33回 阿久比町産業まつり

日時 11月20日(土)・21日(日) 午前9時30分～午後3時
会場 役場前駐車場

20日(土)のイベント情報

- ・よさこい踊り 午前9時35分～
- ・パフォーマー Mr. YU の大道芸 午前10時30分～ 午後1時～
- ・ダンス チアキッズ GOGO 午前11時30分～
- ・CACクイズ大会 正午～
- ・ものまねエアダンス 午後1時30分～
- ・ダンス D.D.M COMPANY 午後2時～
- ・消防コーナー はしご消防車試乗など 午前9時30分～午後3時

20日(土)の耳より情報

- ・知多半島・花半島PR活動 鉢花プレゼント 午前10時～先着300人(JAテント)
- ・知多半島農業クイズ 抽選で2日間50人に景品プレゼント 午前10時～午後3時(JAテント)
- ・果樹組合みかんのつかみ取りサービス 正午～(小学生以下)なくなり次第終了(JAテント)
- ・牛乳(200ml)プレゼント 午前10時30分～先着400個(酪農組合テント)
- ・緑化木プレゼント 午後2時30分～先着200人(特設ステージ)

21日(日)のイベント情報

- ・シンケンレッドと遊ぼう! 午前11時～ 午後1時～
- ・和太鼓かつみ 午前9時30分～
- ・演舞 午前10時～
- ・バルーンパフォーマー哲の大道芸 午前10時30分～ 午後0時30分～
- ・CACクイズ大会 正午～
- ・和太鼓歩童 午後1時30分～
- ・農産物品評会表彰式 午後2時～

21日(日)の耳より情報

- ・知多半島・花半島PR活動 鉢花プレゼント 午前10時～先着300人(JAテント)
- ・知多半島農業クイズ 抽選で2日間50人に景品プレゼント 午前10時～午後3時(JAテント)
- ・果樹組合みかんのつかみ取りサービス 正午～(小学生以下)なくなり次第終了(JAテント)
- ・牛乳(200ml)プレゼント 午前10時30分～先着400個(酪農組合テント)
- ・花束プレゼント 午後2時30分～先着200人(特設ステージ)

同時開催 第32回消費生活展 出張エコマネーセンター
場所 中央公民館南館ホール

会場テント村では、うどん、だんご、まぜごはん、おでん、コーヒーなど軽食コーナーや、直売コーナー、町内の商工業、農業、各種団体が出展し、展示即売・ゲームなど楽しい企画がいっぱいです。お楽しみ抽選会も来てね!

問い合わせ先 産業課 ☎(48)1111(内線234)

阿久比町
マスコットキャラクター



阿久比町民憲章

わたしたち阿久比町民は、ここに町民憲章を定め、よりよい町づくりに努めることを誓います。
ホテル飛びかう、豊かな自然を守ります。
歴史と伝統を守り、教養を高めます。
スポーツに親しみ、健康で明るい家庭をつくります。
オアシス運動をすすめ、笑顔あふれるまちをつくります。
ボランティア活動に、すすんで参加します。



人口と世帯



世帯数 8,883 (+30) 9月中の異動
人口 25,739人(+57) 出生 24 転入 116
男 12,750人(+27) 死亡 17 転出 66
女 12,989人(+30)
()は前月との増減数 平成22年10月1日現在

